

免疫沈降と 蛍光ウェスタンブロッティングの 最新アプリケーション

日時：3 月 19 日（日） 12:30 ～ 13:20

場所：C-18 会場（京都女子大学）

演題① 免疫沈降のコツと有用なツールの紹介（中田 宣之 バイオ・ラッド ラボラトリーズ）

演題② 新しい定量蛍光ウェスタンブロッティング（西村 諭 バイオ・ラッド ラボラトリーズ）

タンパク質の抽出・回収は、タンパク質分析を行う上で必須の作業であり、また分析結果に直結する非常に重要なステップです。

例えば、タンパク質の回収方法の 1 つである免疫沈降は回収条件によって再現性や回収効率に影響を与えます。また、使用する抗体（回収用、検出用）の選択によっても実験結果が変わる場合があります。

一方タンパク質検出法として一般的に用いられているウェスタンブロッティングでは、論文投稿時のデータとして特異性、感度、そして定量性が求められるようになってきています。また、ホースラディッシュペーパーオキシターゼ（HRP）と発光基質により非常に高感度の検出を行えますが、定量直線性やダイナミックレンジ、複数ターゲットの検出など、未だ問題となる場面が多くあり、正確なデータを求める際には多くの点で注意が必要な方法でもあります。

本ランチョンセミナーでは、免疫沈降と、蛍光を用いたウェスタンブロッティングに焦点を当て、実験 Tips や新しいツールをアプリケーションデータとともに紹介し、実験をより確実にを行うための新しい提案をいたします。

セミナーでは以下の内容を予定しています。

◆免疫沈降：

- ・ 様々な Tips と実験のノウハウ
- ・ 免疫沈降用抗体
- ・ 有用な実験ツール

◆ウェスタンブロッティング

- ・ 新しい蛍光色素を用いた蛍光ウェスタンブロッティング
- ・ 総タンパク質を用いたデータ補正
- ・ 蛍光ウェスタンブロッティングによる複数ターゲットのマルチプレックス検出と解析

